

① 会員の皆様からご寄付頂いた金額

11月30日現在同窓会会員の皆様からプランを通しての社会貢献活動に対してご寄付頂いた金額は395,991円（郵便振込176名、現金20名、計196名、払込手数料を除く）でした。これは18年度同期のご寄付額が347,010円（186名）であったのに対して48,981円増となります。これは会員数が約600名なので大体1/3の会員の方々に一人平均2,000円強をご寄付頂いたこととなります。

5月の総会の案内に合わせてご寄付お願いのお手紙を同封したおりに、1日5円か10円使ったつもりで貯金して頂き、ご寄付頂きたい旨を記載しましたが、お一人お一人が従来以上のつもり貯金寄付をして頂いたことになり、大変嬉しく思っています。また中には1日100円のもり貯金寄付を実現して下さい、35,000円ご寄付頂いた方もありました。心から感謝の意を表します。

② 支援する子の増員について

総会通知に合わせて送らせて頂いたご寄付のお願いの手紙に、寄付額が増えれば、支援する子どもの数を1人でも2人でも増したいと書きました。お蔭様でご寄付頂いた額が増えたことから、10月の役員会に諮り、これまで支援する子どもの数が5名だったのを6名に増員することを決定しましたので3万円の追加支払い（寄付）をしました。そこで、2019年度後期会計から6名分（3万円x6名=18万円）払い込んだこととなります。2020年度からは通年として6万円x6名分=36万円を寄付することとなります。なお、今後ご寄付頂く金額が減って、6名の子ども達の支援をすることが出来なくなった場合は、支援する子どもの数はいつでも減らすことが出来、減らされた子どもはプラン事務局で責任をもって次の支援者を確保して頂けることになっています。

③ 新しく支援する子どもについて

2019年11月から支援することになった子どもの名前はFabrice Yebeです。Fabriceは2011年11月17日生まれ（8歳）、国籍はベナン（Republic of Benin：英語ではBeninと書きますが、日本語表記ではなぜかベナンです）。Fabriceの家族は両親と15歳の姉、9歳の兄の5人家族、宗教はキリスト教の由。

ベナンはナイジェリア、ニジェール、ブルキナファソ、トーゴの各国に囲まれた西アフリカの貧しい国で、経済はもっぱら隣の大国ナイジェリアに支配されているようです。アフリカ西部、あるいはサハラ以南については知らないことが多いですね。サハラ以南について学ぶ機会が増えました。

④ プラン寄付額の実績について

金田副会長がまとめて下さった「寄付額実績」によると、支援が始まった1992（平成4）年度の105,000円（2名）に始まり、1993年度に3名、1997年度に4名、2000年度に5名、と支援する子どもの数が増えてきて、ついに2019年度後期から6名の子どもを支援することになったわけです。その間、28年間にプランに対して神奈川同窓会が社会貢献活動として途上国の子ども達の為に寄付した額は7,475,000円（自然災害などに対する緊急支援要請に対する寄付350,000円を含む）という、まさに「塵も積もれば…」ではありませんが、大きな額になりました。全国各地に51か所ある各学習センターの同窓会の中で、神奈川同窓会だけが、唯一海外支援を目的とした社会貢献活動を実

施しているということは神奈川同窓会活動の誇りとしてよい事柄と思います。改めてこの活動を始めた初期の役員会の方々に心から敬意を払う次第です。

30周年記念事業の中でパネルディスカッションとして社会貢献活動の実施についての話題提供を企画していますが、改めて全国の各同窓会にも呼び掛け、社会貢献活動の仲間を増やしたいと願っています。

#### ⑤ コミュニティー訪問について

私達の社会貢献活動の目的は、単に恵まれない子どもの教育環境、生活環境を支援することだけでなく、この活動を通じて私達自身が学ぶことにもあります。神奈川同窓会は2000年に支援している子どものコミュニティー訪問としてタイに行き、有意義な学びの活動をしてきたことがあります。

最近コミュニティー訪問を通じての学びを再度実施しようとの声が出てきたので、プラン事務局に相談したところ、現在支援している子ども達の国の中で安全に訪問出来る国として、また季節を考慮して、2020年3月のフィリピン、11月のネパール訪問が提案されました。いずれも首都のマニラ、カトマンズから離れたところですが、なかなか行く機会がないところなので、行って見たい方が何人かまとまれば具体的に実施の方向で検討します。

差し当たって3月のマニラですが、現在支援しているチャイルドの住むサマル島までの概略見積もりをPIJがいつも利用している旅行者を通じて問い合わせしたところ、羽田発マニラ経由ダバオまでの航空運賃が下記のように出てきました。

・航空運賃：50,000円 ・日本空港施設使用料：2,710円 ・国際観光旅客税：1,000円 ・現地空港税：2,040円※本日レート ・燃油サーチャージ：6,600円（航空保険料含む） ・予約発券手数料：3,000円 合計(1名様)：65,350円

これにダバオ～サマル間のフェリー代とホテル代（マニラ2泊、ダバオ3泊計5泊6日と考えています）となるので、大体10万円位と想定しています。この見積もりは出発日が決まってから正式に決まるもので、概算金額ですが、大体変わらないと思います。目下行くとしたら3月上旬を考えています。サマルからは現地事務所の自動車の手配（多分最大搭乗数は4人程度なので、実施人数も4名以内、もし多いようでしたら2回に分けて）などの都合で、日程も最終的に決定されます。現地訪問についてはプラン事務局も推奨しており、可能な限りお世話いただけるようです。経路の中継地であるダバオは戦前から日本人がマニラ麻の開発で発展したフィリピン第3の都市です。観光面でも海浜、星空、果物と、とても良いところのようなので、一日ゆっくり観光を、と考えています。

差し当たって3月のマニラ行きが迫っているので、マニラ行きの場合のみ見積もりなどを取りましたが、3月にフィリピンへ行って見たい、あるいは11月のネパールなら行って見たい、という方が皆様の中でどれくらい希望者が居られるか、お尋ねします。ご希望の方は1月15日までにプラン担当石橋までご連絡ください。またチャイルド訪問ということがどのようなものであるか、プラン事務局がフィリピンとネパールに関する資料と合わせて用意して下さったので、行くかどうか知る検討の材料としての意味でも資料を送りますので、ご希望の方は住所記入の上石橋までご連絡ください。

(石橋正彦 hkisibasi@gmail.com)